

阿寒の議会報告会に参加しました

11月5日、阿寒町公民館で市議会主催の議会報告会が開かれ、民生福祉常任委員として参加してきました。議会主催の報告会なので、あまり個人的な意見、会派の意見は発言しないようにとの約束もありますので、なかなか対応が難しい点もありますが・・・

その中で、気になった意見を紹介します。

①赤いベレーの宿泊機能の廃止も含めた検討

商工会の方から、阿寒観光振興公社の役員会において、赤いベレーのあり方について検討されており、宿泊機能の廃止も一つの案として検討されているが、どうなのかという意見です。趣旨としては、宿泊機能は続けてほしいということなのです。

②市立病院新棟や鉄道高架の投資について

農業をされている方から、鉄道高架にかかわって、北大通りへの投資が繰

り返されているがどうなのか。市立病院は阿寒インターの出口につくるべきではないかなどの意見がありました。阿寒が合併後、人口も減り、十分な投資がされていないという思いがおおもとにあるのかもしれない。

個人的な意見と前置きした上でですが①赤いベレーの宿泊機能の廃止は反対です。

②市立病院を阿寒につくることは、やはり患者の一番多い旧釧路市に造るべきで、賛成できません。私は、インター近くに、鶴居村の下幌呂地区のような移住者を迎えるための新しい住宅地の整備が効果的ではないかと思いいます。議会でもそうした質問をしています。それにしても、合併のひずみが、住民の間にも影を落としているように思います。



総選挙が終わって、石川明美さんから談話が寄せられましたので紹介します。

みなさん、総選挙ご苦労さまでした。

「安倍・菅政権を許さなう」

この九年間のみなさんの思いに答えるために「北海道の比例で必ず議席を奪還する」、このことの思いで私は取り組んできました。しかし、比例での議席獲得に至らず、改めて小選挙区比例代表選挙の難しさ、そして自力不足を思い知らされました。

もう一方の「市民と野党共闘」では、62選挙区で勝利し、32選挙区できん差の選挙。北海道では、12選挙区中5選挙区で勝利し、2選挙区できん差となるなど最初のチャレンジとして大きな前進でした。しかし、「市民と野党共闘」は多くの課題を残しました。自民党は過半数を維持したとはいえ、政権の座から降ろされるかもしれないという厳しい認識のもと、「野党共闘」への攻撃と政権への執念にはすさまじいものがあります。自公政権とその補完勢力による新自由主義的政策は多くの国民に「苦難」を押し付けています。その「苦難」は待ってくれません。だからこそ私たちは来夏の参院選で勝利し、衆参ねじれ国会にすることが必要です。そのため引き続きみなさんとともに力をつくす決意です。

そして、共闘の要であり、ブレない日本共産党へのご支持を広げていただくためにも、しんぶん赤旗を多くの方にお勧めしていただくことを願います。ご支援本当に有難うございました。

石川 明美

